

地域における野生鳥獣被害対策の成果と今後の取組について

対策チーム名：諏訪地区野生鳥獣被害対策チーム

■タイトル (平成27年度) ヒノキ人工林におけるニホンジカの食害対策に係る検討

■地域名 茅野市 北山湯川 地区

■内容概要

1 地域の概要

集落戸数		加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
213	158	ニホンジカ	ヒノキ	

2 取組の概要

区分	内容
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪管内の野生鳥獣による農林業被害額における農業と林業の比率は、およそ半々であり、農林業被害額のうちニホンジカによるものは、全体の75%を超えておりニホンジカによる被害は深刻な状況である。 ・農業では、稲・野菜・果樹への被害が大きい。林業では、樹木に対する食害による枯死や木材としての利用ができない状況に至る被害がほとんどである。 ・こうした中で、防護対策として樹脂製ネットによる実証試験を行うこととした。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者の北山湯川財産区、茅野市、林業総合センター育林部、諏訪地地方事務所林務課で連携して調査及び対策を行った。 ・被害状況調査、加害獣の同定、被害状況の把握、対処方法の決定を行った。 ・樹脂製防護ネットによる防護方法を採用し実証試験を行うこととした。 ・試験地の概要：ヒノキ、人工林、33～35年生、面積0.22ha（施工区0.12、対象区0.10ha） ・27.12.7、試験地にはセンサーカメラを獣道に3基設置、100本に防護ネット設置（60本は幹と根張部分、40本は幹のみに設置）と100本の未設置木を対象区として設けた。 ・28.4.27、北山湯川財産区、茅野市、林業総合センター育林部、諏訪地地方事務所林務課で効果確認調査を実施した。 ・今後、定期的に経過調査を実施するとともに、結果を関係者間で情報共有していく。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・28.4.27、効果確認調査の結果は以下のとおり。 ・[施工区]100本中、被害木1本のみ、[対象区]100本中、被害木60本 ・樹脂製ネットの施工は、シカによるヒノキの樹皮剥ぎ防止に効果があることを確認。 ・対象区のヒノキ被害木は、根張り部分から幹に向かって激しく剥皮されていた。 ・センサーカメラの写真データから、シカを確認。加害獣をシカ害と断定。 <p>※この取組により、加害獣が同定され、対処方法として樹脂製ネットが有効であることがわかった。</p> <p>※実証試験結果のフィードバックに期待が持てる。</p>
農家等の方からのコメント	<p>加害獣が同定でき、対処方法の一つとして樹脂製ネットの有効性を確認できた。今後の実証試験結果のフィードバックを期待している。</p>

3 課題と今後の取組

試験地としての調査は開始されたばかりである。

- ・今後、継続してセンサーカメラによるニホンジカの出没状況を把握する。
- ・試験施工した樹脂製ネットの効果を継続して検証する。①ニホンジカの食害に対する効果、②冬季の積雪等の影響
- ・森林施業の中での防護ネットによる防護方法の検証と結果のフィードバック

4 活動状況



根張部分の食害状況



根張部と幹の食害状況



防護ネット設置(幹のみ)



防護ネット設置(根張・幹)



センサーカメラの設置